

## 2026年度春学期入学

### 関西学院大学大学院経営戦略研究科入学試験

### 【博士課程先端マネジメント専攻】

### 専門論文（テクノロジー・マネジメント分野）

#### 受験についての注意事項

1. 試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
3. 問題用紙1部、解答用紙4枚が配付されます。
4. 机の上には筆記用具（黒鉛筆・シャープペンシル／消しゴム／鉛筆削り（電動式や大型のもの、ナイフは除く）、受験票、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、ストップウォッチ、大型のものは除く）、眼鏡、ルーペ、ハンカチ、袋または箱から取り出したティッシュペーパー、目薬、ラベルを剥がしたペットボトルのほかは置かないでください。それら以外の物はカバンに入れ、床の上に置いてください。
5. 筆記用具および時計は、計算機能や翻訳機能などを組み込んだ物の使用は認めません。時計のアラームは解除し、携帯電話等は電源を切ってください。
6. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
7. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号を正しく記入してください。
8. 解答はすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙には問題番号を明記してください。
9. 不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
10. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
11. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
12. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

【問題1】

- (1) 約70年前に著された『経済白書』では、イノベーションは「技術革新」と訳されたが、現代的にはイノベーションはどのように訳されるのが適切と思われるか、漢字4文字で答えよ。
- (2) イノベーションのライフサイクルについて、「プロダクト・イノベーション」、「プロセス・イノベーション」、「ドミナント・デザイン」の用語を用いながら説明せよ。
- (3) 「持続的(サステイニング)・イノベーション」とは、どのようなイノベーションか説明せよ。
- (4) 「破壊的(ディスラプティブ)・イノベーション」とは、どのようなイノベーションか説明せよ。

【問題2】

- (1) 人が技術的思想の創作をし、それを文書にまとめて出願し審査を受けることによって得られる知的財産権として特許がある。特許は、自らそれを実施することや他者にライセンスすることに加え、他社(者)の参入を妨げることによって価値を生み出す。特許の価値を計測しようとする研究としてこれまでに発表されたものにはどのような種類と内容があるか、俯瞰的かつ網羅的に説明せよ。
- (2) 特許の価値を計測することには、様々な困難がある。それらはどのようなものか列挙するとともに、それを少なくするためにどのような工夫が考えられるか述べよ。

## 経営戦略研究科博士課程後期課程入学試験

2026年度春学期（2026年4月）入学 出題の意図、採点基準、解答例

試験科目：専門論文（テクノロジー・マネジメント）

### ●出題の意図

【問題1】イノベーションに関する基本的な知識を問う問題である。博士課程前期課程もしくは専門職学位課程で学んでいることの理解度を測ることを目的とする。

#### 【問題2】

博士課程後期課程で主体的に研究を進めるだけの能力があるかどうかを問う問題である。テクノロジー・マネジメント分野の先行研究の渉猟と理解度、および、実際に研究を進めていく際に求められる学究的態度を測ることを目的とする。

### ●採点基準

#### 【問題1】

教科書等に記されている内容が必要十分な程度に記述されていることが求められる。

#### 【問題2】

- (1) 特許の価値を計測しようとする研究としてこれまでに発表されたものにはどのような種類と内容があるか、俯瞰的かつ網羅的に説明されていることが求められる。
- (2) 特許の価値を計測する際の様々な困難を列挙するとともに、それを少なくするためにどのような工夫が考えられるかが記述されていることが求められる。

### ●解答例

#### 【問題1】

教科書等に記されている内容が必要十分な程度に記述されていること。

#### 【問題2】

- (1) 特許の価値を計測しようとする研究としてこれまでに発表されたものにはどのような種類と内容があるか、俯瞰的かつ網羅的に説明されていること。一例として、審査官や他の発明者からの引用件数、技術の幅、株式の回転率等で計測する手法などがあり得る。
- (2) 特許の価値を計測する際の様々な困難を列挙するとともに、それを少なくするためにどのような工夫が考えられるかが記述されていること。